

うどんと雑煮

昨年8月から耳鼻科で週2枠を勤務させていただいております増田勝巳と申します。平成10年川崎医大卒業です。倉敷平成病院にも川崎医大卒業の先生も多数おられると伺っております。よろしく願いいたします。

自己紹介をしていると、「出身はどこ？」となるわけです。親の勤務の関係で、生まれは奈良県ですが実家は香川県、なので香川県と答えるようにしています。こう答えると次の質問はほぼ間違いなく、うどんがらみか、雑煮の質問になります。香川県は「うどん県」ともいい、よくうどんは食べていることを否定はしません。「本当に毎日食べるの？」とも聞かれることも少なくないです。うどん屋が多いのは事実であり、気軽に食べられることは間違いありませんが、自分は決して毎日食べるはおりません…。おすすめの店もよ

くわかりませんので、決して聞かないで下さいね。

もう一つの多い質問、それが雑煮です。香川の雑煮と聞いてピンと来た方もおられるかもしれませんが、香川県の雑煮は白味噌あん餅で、よくテレビなどでも紹介されています。その由来を検索してみると、讃岐高松藩時代の特産品が「讃岐三白」といわれる、塩、砂糖、木綿で、このうち砂糖が和三盆となります。当時では珍しい白砂糖だったようです。そのような藩の特産品を気軽に食べることはできない、でも正月だけでも贅沢をしたい、甘いものが食べたいというわけで砂糖をあんに入れて餅で包んで(砂糖が入っていることをわからないようにして)雑煮にしてたべたのが始まりだそうです。これまた検索すると、あん餅雑煮を提供するお店もあるようです。皆さん、香川県にお



耳鼻咽喉科

ますだ かつみ

増田 勝巳先生

越しの際は、ぜひトライしてみてくださいませ。ちなみに我が家は倉敷生活が長いので白味噌あん餅ではありません…。

P.S. 偶然にも前月号の佐々木先生と内容が被ってしまいました。すみません！

増田先生は水曜午後と木曜午前の耳鼻咽喉科を担当されています。

Doctor's Eyes